

## 港区立小学校及び幼稚園へのボルダリング設備の設置について

幼児及び児童の体力の向上や運動の機会を増やすとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーを継承することを目的として、全ての区立小学校及び幼稚園にボルダリング設備を設置します。

### 1 背景

区立小学校では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、幼少期からの運動経験・運動時間が減少しました。また、スポーツ庁が実施した令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査では、令和元年度の同調査と比べ、小学生の男女ともに体力の低下が見られました。

こうした中、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会で新競技として採用されたスポーツクライミングの中でも、比較的低い壁をロープ無しで登るボルダリングは、体力向上の他にも、達成経験を得やすいことから、子どもたちにも親しみやすい運動として日本国内における競技人口が増加傾向にあります。

このような状況を踏まえ、区では、白金小学校をモデル校として、令和2年度にボルダリング設備を設置し、児童の健康な体づくりを進めてきました。令和4年度当初までに、白金小学校のほか、御成門小学校及び芝浜小学校にボルダリング設備を設置しており、体育の授業や外遊びを充実させることで、児童の体力向上の取組を進めています。さらに、全ての区立小学校及び幼稚園へのボルダリング設備の設置拡大を進め、運動に親しむ園児・児童を育成することで、子どもたちの運動時間が確保され、体力向上につながることを期待できます。

### 2 ボルダリング設備について

#### (1) 小学校への設置及び運用

既に設置している白金小学校、御成門小学校及び芝浜小学校と、現在改築中の赤羽小学校を除く15校について、ボルダリング設備を設置します。

各校の設置場所については、降雨の影響を受けないピロティや体育館とします（設置事例は別紙のとおり）。

壁面に設置するサイズは、安全面を考慮し、登ることよりも横に移動することを主眼として、高さ3m、幅5m程度とし、落下者を受け止める安全マットをあわせて設置します。

児童によるボルダリングの利用は主に休み時間とし、利用時間中は教職員が見守りを行うことで、けが等の抑制に努めます。また、各小学校でのボルダリング設備の日常点検のほか、専門家による点検を実施し、安全の確保に努めます。

## (2) 幼稚園への設置及び運用

既に園庭にボルダリング遊具が設置されている白金台幼稚園と、小学校と共同利用する赤羽幼稚園、南山幼稚園及び本村幼稚園を除く8園について、ボルダリング設備を設置します。

各園の設置場所については、園庭、遊戯室等とし、設置するサイズは、安全性を考慮して、高さ2m、幅3m程度とします。

園児によるボルダリングの利用は主に教職員とともに遊ぶ時間とし、けが等の抑制に努めます。また、各幼稚園でのボルダリング設備の日常点検のほか、専門家による点検を実施し、安全の確保に努めます。

## 3 今後のスケジュール（予定）

令和4年 9月 令和4年第3回港区議会定例会（補正予算案提出）  
11月～3月 各小学校・園への設置工事



白金小学校



御成門小学校